

日本臨床外科学会 国内外科研修報告

広島大学病院消化器外科・移植外科での外科研修を終えて

りんくう総合医療センター外科

松本 謙一

この度、日本臨床外科学会の国内外科研修制度を用いて、2022年1月31日から2月11日までの2週間、広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学で研修させていただきました。COVID-19感染症が収束しない中、快く私を受け入れていただいた大段秀樹教授はじめ広島大学消化器・移植外科の先生方、秘書の方々、また私を研修へ送り出してくれたりんくう総合医療センター同僚の方々に心より感謝申し上げます。国内であっても医局を超えて他施設で研修を行うハードルは高く、貴重な機会を与えていただいた日本臨床外科学会にもお礼申し上げます。研修に先立っては期待と不安の入り混じった心境でしたが、研修を終えた今、想像以上に濃密な経験を得られた充実感でいっぱいです。2週間というのは過ぎてみれば短く、後ろ髪を引かれる思いで広島を後にしました。

私は2011年に大阪大学を卒業し、関連病院で初期研修・後期研修を終え消化器外科に入局しました。肝胆膵外科を志望した理由は、解剖学的にも病気としても手強い肝臓や膵臓に興味を持ったことでした。2019年に大学院の研究生活を終え、いざ臨床の世界に戻ってみると痛感したのはやはりその臓器の複雑さ。特に肝臓に関しては個々人で脈管構造が異なる上、その立体構造が術野によって変化し、術前のシミュレーションや術中の想像力が中々及ばないことを実感しておりました。また、自施設では肝切除の中でも解剖学的切除が適応になる症例は少なく、なかなか経験が積めない状況でした。その様な折、日本臨床外科学会の国内外科研修制度の募集があり、幸いなことに肝臓手術件数が年間120件を超える広島大学病院での研修を行う機会を得ました。

研修期間中、私は敷地内にあるレジデントハウスの一室を利用させていただきました。家電一式がついている上にシーツ交換も行ってもらえたため、快適に過ごすことができました。

初日は緊張しつつ医局を訪ねたのですが、予想外なほどに様々な先生から温かく声をかけていただき、歓迎していただいたのが印象的でした。歓迎会ができないんですけど、とのことで毎日のように出前をとっていただき、お好み焼きの特徴を紹介していただいたのもあり、短期間で順応することができたように感じました。一方で、研修を通じて感じたのは、広島大学大学院に所属されている先生方それぞれが非常にhard workingで、かつ大段教授の力強い指揮により全体が明確な目標に向かっているということでした。学術面においては、臨床に即した臨床研究および基礎研究が行われており、これが明らかになれば臨床的にこういう意義があるのだという明確な目的意識を感じました。先生方の努力の賜物だと思いますが、研究設備も充実し、清潔に整備されており、何より研究資金が潤沢にあるとのこと。はっきりとした指針により業績を積み上げ、研究に邁進し、資金を獲得するという好循環を羨ましくも目の当たりにしました。

手術に関しては、2週間という短い期間ではありましたが、5件の肝臓手術、1件の胃静脈瘤手術に助手として参加させていただき、3件の膵臓手術に立ち合わせていただくことができました。肝臓手術では術前に全ての症例でCT画像から肝臓と脈管、切除予定範囲が3D再構築されており、それを元にグループでシミュレーションを入念に行っておられました。術中も、様々なモダリティを駆使した解剖学的切除へのこだわりを見ることができました。左右グリソン鞘の一括確保、動門脈胆管個別処理、右グ

リソン鞘を末梢側へ辿り前区枝，さらにG5/8を同定する方法（G8腹側枝のみを処理するため），胆嚢全層剥離によりレネック皮膜を露出する方法，エコー下穿刺による区域染色法とICG蛍光カメラによる灌流域（もしくは阻血域）の確認など，それぞれが鮮やかで印象的でした。また術中に迷う場面があったときに，directorの先生を中心に非常に理論的な議論がなされて手術の進む道が決まるのも印象的で，広島大学肝胆膵外科の懐の深さを感じることができました。膵臓手術についても，第一外科，上村先生のご協力により間近で見ることができました。印象的だったのは，自分よりわずか数学年上の先生が今年すでに高度技能専門医に応募されたこと，同医局からは上村先生の指導のもと，毎年コンスタントに合格者を輩出し続けていることでした。膵頭十二指腸切除は流れが統一され，術野の全員がそれを共有していることでどの手術も景色が同じに見えるほどでした。

素晴らしい交流をさせていただくことができました。私からは何も恩返しができないかもしれませんが，この経験を自分のこれからの手術に反映できるように努めていきたいと思います。ありがとうございました。



大塚教授，広島大学第二外科の先生方と